

序

高気圧酸素治療は効果的な治療法と言っても、それは一部の人達にのみ知られることで、その普及はまだまだ不十分なものであります。多くの医療従事者の方々にできるだけ本治療について理解してもらう狙いを込めて、この度、高気圧酸素治療法の装置として最も普及している「第1種高気圧酸素治療装置」を操作する医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師を対象として、安全に対する注意をはじめとする基礎的事項について十分に熟知できるよう、第1種高気圧酸素治療装置の操作法と治療意義などを解説する解説書「基本からよくわかる 高気圧酸素治療実践マニュアル」をここに出版することになりました。

高気圧酸素治療は確立された治療手段として普及しつつあり、今日の高気圧酸素治療の主体は第1種高気圧酸素治療装置で行われていると言っても過言でなく、今や全国で700施設を超える病院で実施され、その患者数は膨大なものとなっています。特に、ここ数年の導入施設の伸びは著しいものがあり、今後も増加傾向は変わらないものと思われます。ところが、第1種高気圧酸素治療装置の操作マニュアルについては業者の簡単な冊子に過ぎず、本装置に対する参考図書の少ないことは目に余るものです。そこで、皆さんが日常悩んでいる内容をまとめた書籍を出版する企画は意義があり、この立ち遅れを解消するために本書の果たす役割は大きく、高気圧酸素治療を行っている多くの医療従事者の期待に応えることのできるものでしょう。

日本高気圧環境・潜水医学会や日本臨床高気圧酸素・潜水医学会では、学会を中心に多くの研究成果が発表されており、この治療法に対する認識が高まりつつあります。今後この治療法がより確立された一般的治療として発展するためには、最低限必要な基本事項を理解し、正しい治療が実施されることが必要であります。そこで、永年に渡ってこの治療に従事している方はもとより、初めて装置を導入する施設の方々において、高気圧酸素治療が何を目的としてどのような治療効果が期待できるのか考えながら実施されることが望まれます。そのように高気圧酸素治療が多くの疾患に正しく用いられるために、この著書がお役に立てることを願うものであります。

2010年9月

瀧 健治